

公開研究会のご案内

科学研究費基盤研究(S)「史料デジタル収集の体系化に基づく歴史オントロジー構築の研究」
東京大学史料編纂所附属前近代日本史情報国際センター
の共催により、下記の要領で公開研究会を開催いたします。

マイクロフィルムとカメラによる史料探訪や「写真帳」作成の継続が全く困難に陥った状況に対応し、紙媒体の「写真帳」では望みえなかった史料画像の拡大縮小や検索機能を持った画像閲覧システムを構築するなど、アナログ媒体のデジタル仕様による情報資源化と、史料収集システムのデジタル仕様という新たな段階へ導いた研究の成果を公開・報告します。

公開研究会

S 科研「史料デジタル収集の体系化に基づく歴史オントロジー構築の研究」 の成果と課題

日時：2013年2月28日(木) 13:00～17:30(開場 12:30)

会場：東京大学史料編纂所大会議室

(史料編纂所の向かい側福武ホール地下1階、UT カフェ横の入り口からお入りください)

論題と報告者：

- | | |
|--|------------|
| 1 S 科研の課題と経過 | 林 讓 |
| 2 デジタルデータ化の基礎と方法 | 綱川歩美 |
| 3 Hi-CAT Plus の公開：セキュリティ、原本所蔵者との共有システム | 大内英範 |
| 4 デジタル化した収集史料の管理・検索システム | 山田太造 |
| | (人間文化研究機構) |
| 5 オントロジーの発想と史料所在知識の表現 | 横山伊徳 |
| 6 S 科研による史料のデジタル収集と調査研究・データベース化の成果 | 金子 拓 |
| 7 秋田県公文書館におけるデジタルアーカイブの取組み | 太田 研・三浦貴之 |
| | (秋田県公文書館) |
| 8 史料デジタル収集の基準と方法 | 山家浩樹 |
| 9 S 科研の今後の課題 | 保谷 徹 |

参加をご希望の方は、会場準備の都合上、メールフォームにてご一報ください。

(<http://www.hi.u-tokyo.ac.jp/footer/seminar-entry.html>)